

## 2 事業の概要

---

### 1. 中期計画実行のための組織再編

2012年度を起点とする中期計画（2012年度から2016年度）を着実に実行するため、事業を強力に推進する事務体制を整備した。具体的には縦割りや重複する業務システムを改善し、業務効率化と簡素化に取り組むとともに、企画機能の強化と実行機能の充実を図った。

また、職員の人的資源を大学部門にシフトして学園全体の現場力を充実・強化した。

### 2. 組織・人事

#### A 事務組織の見直し

中期計画の推進と事務・業務効率の向上を図ることを基本コンセプトとし、これまで以上に教員ならびに学生支援の充実・強化を図るため、大学事務局を新設し人的資源を大学部門へ集中的にシフトした。

また、新体制の実現のために本部組織のスリム化を図り、10年前の事務組織のセンター化構想から大幅な組織改革を実施した。

しかしながら、学園内で横断的に関与する部署（施設、学寮、情報システム等）を大学で所管することにより却って業務効率の低下を招いたり、意思決定のスピードが遅れたりという弊害が生じることとなったため1年間の組織運用について評価を行い、結果的には2014年度からの組織体制について見直しを図ることとなった。

#### B 人事計画

大 学：2017年度にかけて急増する定年退職者を踏まえ、数年先を見込んだ大学教員の採用について、一定の枠内での先行確保をすることを提案し、実際の採用にも繋がった。

また、大学教員も職員と同様に多様な働き方による勤務形態の選択が可能となるよう、経常費補助金が受給可能な特命教員制度を設定し、語学系や専門系の優秀な教員の確保を行い易くした。

【大学教員採用数】2012年度2名 ⇒ 2013年度18名

附 属：中高部、初等部ともに退職教員の補充採用を行った。幼稚部については、2015年度から総合こども園へ移行する計画に基づき、預かり保育の試行対応を行うため教諭（常勤、非常勤各1名）を新たに採用した。また、初等部給食室をこども園園舎新築工事のために取り壊さざるを得なくなったため、給食室に勤務する11名の職員に対し勤奨退職を実施した。

職 員：2012年度に続き若年層（20代）事務職員の絶対数不足に対応するため、公募を行い優秀な人材の確保を行った。

#### C 人件費比率と適正配分

新たな事業に関して必要な採用と適切な配置を実施したが、人件費比率の低減について継続的に取り組んだ。特に、人件費の均一的配分から成果や実績に応じた適正配分への変更について、様々な観点から検討した。

### 3. SD 研修

#### A TOEIC 実施

全職員に受講を義務化したTOEIC® IPテストの実施状況は以下のとおり。

受験対象者総数	学内 IP テスト実施日	受験者状況	未受験者
167名 受験免除者：5名 TOEIC 800点超	2013年8月7日～8日	学内受験者：161名 個人受験者：3名 合計：164名 受験率：98.2%	3名 体調不良等

## B ポストン職員研修

ポストンでの職員研修を2013年9月8日(日)～9月15日(日)の期間に実施し、本学職員(教務・研究支援・学生支援・アドミッション等に所属)5人が、昭和ポストン近郊3大学(エマニュエルカレッジ、スミスカレッジ、ウェルズリーカレッジ)の現状視察を行った。

## 4. キャンパスの整備・改修工事

2013年度に行った主な改修工事等は以下の通りである。

内容	金額
(全学) 防犯監視システム更新工事	24,181,500 円
(全学) セミナーハウス 人工芝グラウンドへの改修工事	23,572,000 円
(全学) 大学3号館・本部館 歩道インターロッキング工事	21,000,000 円
(大学2号館東棟) トイレ改修工事	15,645,000 円
(大学1号館) 東側外壁補修工事	14,207,550 円
(大学1号館) 階段教室への改修工事	12,896,100 円
(大学1号館) トイレ改修工事	9,240,000 円
(大学5号館) 1階領域解消工事	2,415,000 円
(附属校) 中高2号館トイレ改修工事	39,375,000 円
(附属校) 初等部人工芝グラウンドへの改修工事	26,880,000 円
(附属校) 教員室家具更新工事	11,487,430 円
(附属校) 電子黒板用電源増設工事	9,870,000 円
(東明学林) 寮室改修工事	31,101,000 円
(大学共通) エアコン更新工事	*省エネ対策 53,970,000 円
(大学2号館) 照明器具更新工事	*省エネ対策 40,215,000 円
(大学1・2号館) 太陽光発電装置工	*省エネ対策 12,180,000 円
(大学共通) デマンド改修工事	*省エネ対策 7,245,000 円
(附属校) 昇降口照明器具更新工事	*省エネ対策 2,563,050 円
(全学) 非常放送システム構築	*震災対策 5,985,000 円

## 5. 省エネルギー活動

設備の交換、運用の見直し、啓発活動により省エネルギー活動に取り組んだ。

A 設備交換 空調機・照明器具

B 運用の見直し 廊下等共用施設の照明を間引き点灯

C 啓発活動 消費電力の見える化(ウェブサイト上で公表)、節電シールで節電の協力要請  
大学学友会エコロジー委員会の活動、校内放送による呼び掛け、広報ポスターの掲示  
省エネパトロールの実施

以上の結果、2013年度の電気使用量は、震災前である2010年度比11%削減した。

## 6. 短期大学部廃止

2013年度から学生募集を停止している短期大学部(文化創造学科、入学定員120名)は、2014年3月にすべての学生が卒業したため、廃止した。

## 7. 緑声舎売却と学生会館建設

緑声舎(世田谷区桜新町)を売却し、学生会館を建設した。

学生会館の収容定員は、1人部屋11室 2人部屋51室 3人部屋6室 収容定員131名。

## 8. 会津キャンプ村の利用停止

会津キャンプ村の不動産売却に伴い2014年3月をもって、会津キャンプ村(福島県猪苗代町)の利用を停

止した。

## 9. 優秀者の表彰と奨学金の贈呈

創立記念式典において下記の奨学生を表彰し、奨学金を贈呈した。

人見記念奨学生（大学院・大学・短大・高等学校）人物および成績が著しく優秀な者、全学園の模範となる実績を残した者

成績優秀奨学生（大学院・大学・短大・高等学校）人物および成績が著しく優秀な者

水上奨励基金奨学生（大学 日本語日本文学科）日本語・日本文学・書道・芸能など、広く日本文化と関わりのある領域において、優れた業績をあげた学生または団体

熊澤育英基金奨学生（昭和女子大学短期大学部から昭和女子大学に編入学する学生）短期大学部在学中の成績及び人物が著しく優秀で編入学試験基準を満たし入学試験に合格した者

認定留学奨学生 自由型認定留学（学生が自ら留学先を選び本学が承認する留学）が認められた者

2013年度の奨学生数は次の通りである。

種別	部門	人数
人見記念奨学生	大学院	2人
	大学	35人
	短期大学部	1人
	高等学校	2人
	合計	40人
成績優秀奨学生	大学院	5人
	大学	114人
	短期大学部	2人
	高等学校	15人
	合計	136人
水上奨励基金奨学生	大学	2人
	合計	2人
熊澤育英基金奨学生	大学	1人
	合計	1人
認定留学奨学生	大学	24人
	合計	24人

## 7. 各種媒体による紹介

2013年度に本学園関係者がマスコミで紹介された主な記事数は以下の通りである。

氏名	媒体
平尾光司 理事長	新聞 3・冊子 1
坂東眞理子 学長	テレビ 4・ラジオ 5・WEB4・新聞 22・雑誌 29・冊子 8・広告 1
ジョージ・オルコット 理事	新聞 1
河村幹夫 監事	新聞 1・雑誌 1・書籍 1
日本語日本文学科 吉田昌志 教授	イベント 2
日本語日本文学科 鈴木洋子 特命教授	新聞 1
日本語日本文学科 名須川ミサコ 非常勤講師	雑誌 1
歴史文化学科 木下亮 教授	テレビ 1・新聞 1
歴史文化学科 松田忍 専任講師	新聞 1
歴史文化学科 阿部美香 非常勤講師	新聞 1
歴史文化学科 学生	テレビ 1
国際学科 ボルジギン・フスレ 准教授	WEB1
心理学科 鶴養啓子 教授	雑誌 1
心理学科 河野義章 特命教授	ラジオ 2
福祉社会学科 高橋久雄 教授	新聞 1・冊子 1
福祉社会学科 月田みづえ 教授	WEB1
福祉社会学科 天野寛子 卒業生・元教授	新聞 1・書籍 1・
福祉社会学科 学生	新聞 1
現代教養学科 瀬沼頼子 教授	新聞 1
現代教養学科 大串夏身 特任教授	新聞 6・雑誌 5・WEB4・冊子 1・イベント 3
現代教養学科 鶴田佳子 准教授	イベント 1
現代教養学科 粕谷美砂子 准教授	イベント 1
現代教養学科 福田淳子 准教授	冊子 1・新聞 3
現代教養学科 シム・チュン・キャット准教授	雑誌 1・テレビ 1
現代教養学科 学生	新聞 1・WEB1・イベント 1
初等教育学科 駒谷 真美 准教授	テレビ 7
環境デザイン学科 堀内正昭 教授	イベント 1
環境デザイン学科 杉浦久子 教授	冊子 1
環境デザイン学科 田村圭介 准教授	WEB1
環境デザイン学科 橘 倫央 専任講師	冊子 1
環境デザイン学科 学生	冊子 1

氏名	媒体
健康デザイン学科 中津川研一 教授	テレビ 1
グローバルビジネス学部 久原正治 学部長	雑誌 1
ビジネスデザイン学科 八代尚宏 特命教授	テレビ 5・WEB8・新聞 4・雑誌 6・
ビジネスデザイン学科 福沢恵子 特命教授	雑誌 1・新聞 4・テレビ 1・冊子 1
ビジネスデザイン学科 薬袋貴久 専任講師	書籍 1・雑誌 1・WEB2・
ビジネスデザイン学科 学生	新聞 1
総合教育センター 友野清文 准教授	テレビ 1
大学 学生	新聞 1・メディア 1
大学 全体	新聞 8・WEB4・雑誌 1
輝け☆健康「美」プロジェクト	新聞 1・冊子 1
近代文化研究所 佐藤美恵子 主任	書籍 3・雑誌 2
女性文化研究所 遠藤由紀子 研究員	新聞 4
国際文化研究所 平井聖 特任教授	テレビ 1
現代ビジネス研究所 小森亜紀子 助教	冊子 1
現代ビジネス研究所 治部れんげ 研究員	WEB9・イベント 2・冊子 1
キャリア支援部長 森ますみ 教授	新聞 1
磯野彰彦 キャリア支援センター長	新聞 2
国際交流センター 有松真希子 初等部非常勤講師	雑誌 1
光葉博物館 増田勝彦 顧問	テレビ 1
研究支援機器センター 伊藤美香 助教	テレビ 1
光葉キャリア塾 学生	テレビ 1
中高部 コーラス部	ラジオ 1
初等部 白数哲久 教諭	書籍 1
人見記念講堂	テレビ 1
オープンカレッジ 太田鈴子 学院長	テレビ 1・冊子 3
“輝く私” 昭和女子大学ステーション	新聞 1
NPO 昭和 おでかけ広場 SHIP スタッフ他	雑誌 1

## 1. キャンパスのグローバル化

文部科学省「2012 年度グローバル人材育成推進事業（支援期間：5 年間）」の採択を受け、学長を委員長とする「グローバル人材育成プロジェクト委員会」では 2013 年度は以下の事業を行った。

## A 国内プログラムの開発

7 月 21 日～8 月 10 日の間、8 か国 16 人の外国人学生を迎え、SWU Summer Program を実施した。プログラムは、①日本の文化・社会・歴史等について、講義とそれに関連する視察・活動を通じて学ぶ Japan Studies(JS)、②日本の女性の役割をテーマに、グループディスカッションとプレゼンテーションを行う Cross Cultural Workshop(CCW)の 2 つから構成されており、日本人学生も単位履修の学生が 7 人、聴講およびボランティア学生として延べ 81 人の参加があった。

<スケジュール>

日程		午前の活動（主に学内）	午後の活動
7 月 22 日	月	開会・ガイドダンス・アイスブレイク・学内案内	都内観光 1：渋谷・原宿・歓迎会
7 月 23 日	火	【JS】日本語・書道体験	【JS】日本伝統文化体験～茶道
7 月 24 日	水	【JS】日本のデザイン	【JS】日本のデザインに関連した活動～風呂敷
7 月 25 日	木	【JS】東京の歴史	【JS】江戸東京博物館見学
7 月 26 日	金	【JS】歌舞伎	【JS】歌舞伎鑑賞 於新歌舞伎座
7 月 27 日	土	【CCW】多文化協働プロジェクト 1	ホームステイ
7 月 28 日	日	ホームステイ	夜：寮へ帰着
7 月 29 日	月	【JS】日本の教育	【JS】学校訪問～附属中等高等学校
7 月 30 日	火	【JS】日本の女性	【JS】女性へのインタビュー～卒業生
7 月 31 日	水	【JS】日本の経営	【JS】会社訪問～日本航空
8 月 1 日	木	【CCW】多文化協働プロジェクト 2	【JS】日本伝統文化体験～合気道 【CCW】多文化協働プロジェクト 3
8 月 2 日	金	【JS】一日旅行：鎌倉・横浜 活動 8&9	
8 月 3 日	土	【CCW】多文化協働プロジェクト 4	【CCW】多文化協働プロジェクト 5
8 月 4 日	日	自由行動	
8 月 5 日	月	【JS】日本のポップカルチャー	【JS】ジブリミュージアム
8 月 6 日	火	【JS】日本の食文化	【JS】懐石料理
8 月 7 日	水	学寮に向けて出発（東明学林）	【CCW】多文化協働プロジェクト 6
8 月 8 日	木	【CCW】多文化協働プロジェクト 7	【CCW】多文化協働プロジェクト 8
8 月 9 日	金	大学に向けて出発	【CCW】多文化協働プロジェクト報告会 閉会・送別会

## B 国際交流センターによる留学支援

国際交流センター内に、英語学習アドバイザー・英文ライティングアドバイザー・留学アドバイザーを配置し、留学や英語力強化に関する個人及びグループカウンセリングを行ったほか、留学の動機づけを促す各種パンフレットの作成およびホームページの改修などを通じて学生への留学支援を行った。

## C 海外協定校の開拓

淑明女子大学（韓国）、国民大学（韓国）、東海大学（台湾）、タマサート大学（タイ）、フレミンガム州立大学（米国）、カレッジオブフェンウェイ（米国）、と新たに協定を締結した。

#### D 上海交通大学とのダブルディグリープログラムの開発

上海交通大学国際教育学院と本学国際学科の間でダブルディグリープログラムを開発し、平成 25 年度から実施した。このプログラムでは、学生は 5 年間在籍することになるが、2 年次後期から 2 年間上海交通大学に留学し、両大学の卒業に必要な単位を修得することで両大学の学位を取得できる。2013 年度入学の国際学科中国専攻学生を対象に募集し、11 人の参加登録があった。

#### E 遠隔授業システムの設置

遠隔授業システムを設置して昭和ボストン、上海交通大学及びクイーンズランド大学と遠隔授業を実施した。また、海外の協定校を中心にパートナーの開拓を行った。

実施日	内容
9 月～12 月	上海交通大学 国際授業「中国現代史」於：CALL 教室（計 4 回）
10 月 4 日	クイーンズランド大学 英コミ授業「マイクロティーチング演習」於：CALL 教室
10 月 17 日	昭和ボストン 国際学科授業「スペイン語・フランス語」於：東明学林
1 月 31 日	昭和ボストン BLIP 学生へのキャリア支援講座

#### F 講演会の実施（学生対象）

以下の講演会を実施した。

実施日	内容	参加数
7 月 10 日	「日本が必要とするグローバル人材」於：人見記念講堂	約 2000 人
10 月 26 日 11 月 6 日	留学経験を活かしたキャリア・就活支援懇談会及び支援講座	延べ 84 人
10 月 26 日 11 月 6 日	留学生のための就活支援懇談会及び支援講座	延べ 16 人
2 月 14 日・15 日	バルセロナ大学教員によるスペイン美術に関する学生ワークショップ および講演会「カタルーニャのモデルニスモとジャポニスム」	延べ 70 人
3 月 8 日	協定校でのキャリア育成セミナー（於：上海交通大学国際教育学院）	44 人

#### G 講演会・セミナー等の実施（教職員対象）

以下の講演会を実施した。

実施日	内容	参加数
6 月 19 日	FD 講演会「TV 会議システム活用の現状」	67 人
7 月 10 日	FD サロン「TV 会議システムの利用促進を目指して」	40 人
12 月 4 日	在日留学生危機管理セミナー	約 40 人
2 月 13 日	FD 講演会「英語を母国語としない教員による授業実施の実際」	75 人

#### H 英語力向上のための取組

全学科新入生を対象に英語のプレイスメントテストを行い、その結果に基づき人間文化学部の各学科で英語のレベル別クラスを導入した。

また、英語力向上を目的に、各種 TOEIC セミナーおよび TOEIC IP テストを開催したほか、グローバルラウンジを中心にミニセミナー、ワークショップなどのアクティビティを積極的に開催した。

##### (1) TOEIC 関連



実施日	内容	参加数
4月・7月・2月	GTEC 実施 (英語レベルの測定及び外国語英語プレースメントテスト)	2,141 人
5月 11 日～3月 25 日	TOEIC IP テスト (5 回)	延べ 1,991 人
4月 23 日～1月 15 日	初級者向け TOEIC 対策セミナー (3 回)	延べ 387 人
5月 25 日～12月 14 日	TOEIC パート別セミナー: 目標 600 点・目標 800 点クラス (12 回)	延べ 499 人
8月 5 日・2月 17 日	TOEIC 集中セミナー (2 回)	延べ 83 人

## (2) アクティビティ関連

実施日	内容	参加数
6月 5 日～12月 11 日	ランチタイム・ミニセミナー	42 人
11月 13 日・20 日	英文サマリー・ライティング・ワークショップ	104 人
5月 27 日～7月 12 日 10月 14～12月 6 日	英語アクティビティ「What's up, World!」	80 人
10月 17 日～11月 7 日	ポキャビルコンペ 2013	37 人

### I 留学生の支援

外国人留学生（正規学生・交換留学生・科目等履修生等）が本学で学習するうえで必要な事項をまとめた留学生ハンドブックを作成し、2014 年度入学者より使用を開始した。また、外部の日本語学校と提携し、留学生の日本語チューター制度を実施した（希望制：延べ 19 人参加）

### J 教員ガイドブックの作成

教育研究や学生指導のための基本情報のほか、本学で勤務するうえで必要な規定等を中心に、日本語版・英語版の教員ガイドブックを作製した。これをもとに、2014 年度入職の新任教員への研修を行った。

### K 多言語による国際交流関連情報の発信

英語サイトを中心に、中国語、韓国語の WEB サイトの内容を充実させ、多言語での情報発信を強化した。

- 英語サイト : <http://en.swu.ac.jp/>
- 中国語（簡体字）サイト : <http://ch.swu.ac.jp/>
- 中国語（繁体字）サイト : <http://tw.swu.ac.jp/>
- 韓国語サイト : <http://kor.swu.ac.jp/>

## 2. 教育

### A 就業力向上支援

#### 1. キャリアデザイン・ポリシー

制定されたキャリアデザイン・ポリシーに基づき、カリキュラムを体系化して履修モデルを冊子やホームページで公開して学生や受験生に提示した。この履修モデルを活用し、学生を指導して就業力の向上に努めた。

#### 2. キャリアコア科目

全学共通のキャリアコア科目を開講してカリキュラムを体系化し、全学的なキャリア教育を推進した。

#### 3. 社会人メンターネットワーク

公募や推薦により約 300 人の社会人メンターを登録し、学生の進路設計やキャリアプランの相談機会を充実させた。金融・商社・芸能・デザイン・NPO 団体など幅広い職業と、海外生活や子育てなど多様な

経験を持つ社会人が在籍し、学生支援に積極的である。  
個別メンタリングやメンターカフェ、メンターフェアを実施した。

#### ■2013 年度活動実績

	開催回数	参加学生数
個別メンタリング	申込件数 110 件	実施件数 106 件
メンターカフェ	8 回	163 人
メンターフェア	16 回	978 人
合計参加学生数		1,247 人

#### 4. キャリア教育プログラム

首都圏 17 大学 1 短大が共同申請した文科省「2012 年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択された。今年度で 2 年目となっている。

取 組 名：首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善

共同大学：青山学院（幹事校）・大妻女子・お茶の水女子・工学院・駒澤・芝浦工業・昭和女子・女子美術・専修・拓殖・東京家政・東京電機・東京都市・東京未来・法政・明治学院・目白・東京家政大短大

本学の取組は、新設する現代ビジネス研究所にラーニング・コモンズを設置し、学生のプロジェクト研究を進めながら産業界と連携して人材育成プログラムを開発するもので、今年度はプロジェクト活動を中心とした人材育成プログラムの開発を進めた。

また、法政大学をオーガナイザーとする本学・女子美術・東京家政・明治学院・目白・東京家政短大の研究チームで「産業界との連携による人材開発プログラムの開発」に取り組み、昨年度に引き続き、催事販売型インターンシップ・プログラムを共同実施した。

#### 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業関連プロジェクト活動

	プロジェクト名	コラボレーション先
1	「三茶さんちゃを楽しもう！」プロジェクト	連携 18 大学世田谷区商業政策課、世田谷区消費政策課、茶澤通商店街、まちづくり公社、協力団体：世田谷区消費生活連合会・世田谷区清掃・リサイクル課
2	配財材プロジェクト with SWU	一般社団法人配財プロジェクト・地域（墨田区、世田谷区、渋谷区）
3	催事販売型インターンシップ （法政大学を中心とする 7 大学の活動）	十条商店街
4	渋谷桜丘町づくり－Beyond 246－	渋谷駅前共栄界・桜丘町会
5	昭和女子大学薬袋ゼミと「はこねのもり女子大学」とによる箱根地域の新たな魅力・「はこじょ」創造プロジェクト	はこねのもり女子大学
6	産業界のニーズに対応した教育改善事業：産業連携ビジネスコンテスト参加	法政大学主催

#### 5. オナーズクラス（リーダーズアカデミー）の実施

リーダーズアカデミーは、学長が主催する本学学生のリーダー養成講座（オナーズクラス）である。21 世紀を生きる女性に必要な見識・リーダーシップを養うことを目的に、歴史、経営、政治・経済、社会、環境、起業など具体的なテーマについて、各界で活躍する著名人による講義を聴講し、時間外

を活用してグループ毎に適宜討議を行い、翌週に討議結果を発表するというプログラムとなっている。また、講師との交渉から当日の運営まで学生自身が担当し、学科の壁を越えたグループワークが主体となっている。

本プログラムは学科推薦者と公募によって受講者を決定しており、今年度は各学科の2、3年生を中心に46名の学生が参加した。

■今年度の講師とテーマ

講師		テーマ
蟹瀬 令子	レナ・ジャパン・インスティテュート(株)代表取締役	自分ブランドの作り方
秋山 訓子	ジャーナリスト (朝日新聞記者)	コミュニケーション・ストラテジー
藤井 清孝	ベタープレイス・ジャパン代表取締役社長兼アジアパシフィック代表	グローバル経営
齋藤ウィリアム浩幸	コンサルティング会社インテカー代表	日本の未来と起業家精神
漆 紫穂子	品川女子学院 校長	女性の可能性を開く
駒崎 弘樹	NPO法人フローレンス代表理事	NPO と社会起業
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 副代表	社会を変える

B FD 活動

1. 授業改善アンケート

■大学・短期大学部

A. アンケートの実施

授業法の改善を目的として、受講者数10名以上の全授業科目を対象にアンケート調査を実施した。(前期7月・後期2月)

B. 改善報告書の作成と公開

授業単位：全常勤教員(非常勤任意)の改善報告書を学内ウェブサイトに掲載した。(教員名を除く)

学科単位：各学科の教務部委員が報告書を作成し大学ホームページに掲載した。

また、アンケート結果から読み取れる質問項目間の相関関係について経年比較・分析を行った。

■大学院

カリキュラムから研究環境までを評価するアンケートを、専攻ごとに実施した。(前期7月・後期2月)結果を各研究科教授会で報告し、専攻ごとに改善報告書を作成して学内ウェブサイトに掲載した。

2. 授業公開

授業のピアレビューにより新たな知見を得るため、合計392科目の授業を公開した。

3. FD 講演会

総合的な教育力の向上をめざしてFD講演会を開催した。

第1回 6月19日16:30~17:30 参加者数：67名	テーマ：『テレビ会議システム活用の現状：企業や大学の事例から』 講師：パナソニックシステムネットワークス(株)商品マーケティングセンター 映像コミュニケーション チームチームリーダー 萩原 恭太郎 氏
第2回 7月31日15:30~17:00 参加者数：36名	テーマ：『アクティブ“ティーチング”の勧めー授業・ゼミ等で「就業力」を高める試みー』 講師：ユニコンラボ代表・元早稲田大学副総長 水間 英光 氏

第3回 2月13日 10:10～11:10 参加者数：75名	テーマ：『英語を母国語としない教員による英語での授業実施の実際』 講師：創価大学経済学部教授 勘坂 純市 氏
--------------------------------------	---

#### 4.FD サロン

より円滑な授業運営のために、教員間で気軽に意見交換しながら課題への対応を考える場として FD サロンを開催した。

開催日	主なテーマ
7月10日	テレビ会議システムの利用促進を目指して 参加者数：40名
10月9日	前期授業を行った感想及び今後の課題等 参加者：新任教員18名、FD推進委員4名

#### 5.新任教員研修

翌年度4月1日以降採用の常勤・準常勤教員を対象に「本学の建学の精神・理念を踏まえ、本学ならではの教育の特色および制度についての理解を深める」ことを目的として新任教員研修を実施した。

開催日	主なテーマ
3月23日	①教学全体にかかわる取り組み・研究費について ②学生の進路・キャリア支援体制について ③本学の入試・学生募集等について ④学生指導・クラス運営について ⑤本学のFD活動について 参加者：新任教員23名、部長4名、FD推進委員3名

#### 6.国内大学・昭和ボストン視察

グローバル人材育成に係わるFD活動の取組について、国内外大学の視察を行った。

視察日	視察者	視察先
8月28日	清水真 委員・斉藤規子 委員	ハノイ国家大学
9月26日	小原奈津子副学長（オブザーバー）	京都大学

#### C 自己点検・評価活動

本学では、全評価項目のうち毎年の重点項目について全学的な評価を実施している。

2013年度は、「教員・教員組織」「教育内容・方法・成果」に関する自己点検・評価を各研究科・学部、総合教育センター、教務部、副学長、学長補佐担当、FD推進委員会を担当として実施した。また、昨年度実施した「学生支援」に関して示された改善の方策についても検証を行った。

参考：自己点検・評価活動

第1回 自己点検・評価実施委員会 6月27日（木）	2012年度自己点検・評価結果の承認
第2回 自己点検・評価実施委員会 7月11日（木）	2013年度重点項目到達目標の承認
第1回 自己点検・評価実施小委員会 7月24日（水）	対象部署に対する説明会

自己点検・評価説明会(大学院) 11月8日(金)	大学院委員会後、引き続き自己点検・評価実施に関する説明会を開催
第1回 自己点検・評価部会 (教員・教員組織部会) 2月21日(金)	副学長、教務部長、学長補佐担当、研究支援担当による相互評価の実施
第2回 自己点検・評価部会(混合部会) 3月10日(月)	生活機構学専攻、グローバルビジネス学部、教務部、総合教育センターによる相互評価の実施
第3回 自己点検・評価部会 (生活科学部会) 3月13日(木)	生活科学研究専攻、環境デザイン研究専攻、生活科学部各学科による相互評価の実施
第4回 自己点検・評価部会 (人間社会学部会) 3月14日(金)	心理学専攻、福祉社会研究専攻、人間教育学専攻、人間社会学部各学科による相互評価の実施
第5回 自己点検・評価部会 (人間文化学部会) 3月19日(水)	生活文化研究専攻、文学研究科各専攻、人間文化学部各学科による相互評価の実施

### 3. 学生支援

#### A 進路・就職支援

##### 1. 就職支援プログラム

2013年度に実施した学部・短大生向け就職支援プログラムは以下の通りである。

#### ■インターンシップ関連（4日程）

日程	内容	人数
4月13日	説明会	563
4月20日	セミナー	481
7月13日	マナー講座	305
11月30日	報告会	190

#### ■就職ガイダンス関連（14日程）

日程	内容	のべ人数
5月31日 6月6・12・24日 7月9日 10月15・28日 11月15・29日 12月12日 1月22日	キャリア支援センター・ツアー	187
5月22日 10月9日 11月29日	就職ガイダンス	2,202

#### ■業界研究講座・セミナー（24日程）

日程	内容	のべ人数
10月11日 28日	マスコミ[新聞]	35
10月15日・28日	業界研究の進め方	227
10月16日	外資系エアライン	25
10月23日	福利厚生アウトソーシング	44
10月25日	化粧品	40
11月1日	建設	70
11月6日	ブライダル	66
11月13日	ホテル	67
11月15日	百貨店	56
11月20日	エアライン	41
11月22日	精密機械メーカー	54
11月27日	印刷	94
12月11日	金融	35
12月16日・19日	中堅・中小企業の探し方	345
12月18日	マスコミ[テレビ]	39
1月10日	アパレル	15
1月20日	化学メーカー	19

日程	内容	のべ人数
1月22日	金融[損害保険]	24
1月23日	病院	50
1月24日	金融[銀行]	64
1月29日	金融[生命保険]	9
1月31日	商社	61

■内定者報告会・座談会（8日程）

日程	内容	のべ人数
11月5日	内定者報告会	146
11月12・14・15・18・22・25・29日	内定者との合同座談会	73

■学内合同企業説明会（18日程）

[2014年3月卒業生対象]（10日程）

日程	内容	のべ人数
5月10・30日 6月24日 7月26日 9月25日 10月29日 11月28日 12月19日 1月24日 2月24日	学内合同企業説明会	484

[2015年3月卒業生対象]（8日程）

日程	内容	のべ人数(8日間)
12月3～6日 1月14～17日	学内合同企業説明会	3,335

■就職活動基本講座（43日程）

日程	内容	のべ人数
5月30日 6月10・13・20・28日 7月4・11・16日 8月2・5日	就職対策特別講座	2,202
10月29・31日	リクルートビジュアル	225
10月21・22・24・25日 11月7・15日	履歴書・エントリーシートの作成	1,229
5月24日 6月19日 10月24日	就職活動フォローアップ講座	19
12月13日	自分のアピールポイントを探す講座	39
11月19・22・25日 12月12・14・21日 3月12日	面接対策	1,064
12月14・21日 2月26日	グループディスカッション対策	263
11月18日・21日	就職活動に必要なマナー	350
2月18日	履歴書・エントリーシート再点検	75
2月14・17～21・25・26日	採用担当者による模擬面接会	157

■公務員・資格取得・模擬試験（8日程）

日程	内容	人数
4月5日	「SPI・一般常識」模擬試験	1,974
4月23日	公務員試験セミナー	80
4月26日 5月13日	資格取得セミナー／旅行業務取扱管理者	77
5月11日	教員採用模擬試験（小・中・高）	32
5月11日	保育士・幼稚園就職模擬試験	11
10月31日 12月9日	公務員セミナー	49

■教員採用説明会（14日程）

日程	内容	のべ人数
4月12日 12月19日	川崎市	11
4月15日 11月28日	さいたま市	14
4月18日 11月29日	東京都	60
4月22日 12月5日	埼玉県	41
4月30日 12月2日	横浜市	17
5月7日 12月16日	神奈川県	17
11月26日	相模原市	5
12月13日	千葉県	5

■基礎学力向上・SPI対策（17日程）

日程	内容	のべ人数
6月4・17日 7月5・11・19日 10月8・21・28日 11月6・21日	SPI対策／基礎力養成講座	400
8月6～9日	SPI対策／短期集中講座	700
2月19～21日	SPI対策／直前対策	129

■グローバル人材育成推進事業関連（4日程）

日程	内容	人数
10月26日	OGによる留学経験を活かしたキャリア・就活支援懇談会	30
10月26日	留学生OG・メンターによる日本での就活支援懇談会	8
11月6日	留学経験を活かしたキャリア・就職活動支援講座	54
11月6日	留学生が日本で就職活動をするための支援講座	8



■東京新卒応援ハローワーク共催講座（全20回）

日程	内容	のべ人数
4月17・24日 5月1日	東京新卒応援ハローワークを活用した就活	43
5月8・15・29日 6月5・12・26日 7月3・10・17日	東京新卒応援ハローワークのジョブサポーターと語る場	33
5月15日 6月26日	マナー講座	15
5月29日 6月26日	VPI（職業興味検査）	12
6月5日 7月10日	グループ面接	5
6月12日 7月17日	グループディスカッション	3

■その他講座（全1回）

日程	内容	人数
12月11日	入社準備講座	22

B インターンシップ

2013年度は180の企業・団体に356人の学生がインターンシップを体験した。  
主な企業・事業所名は以下の通りである。

区分	企業名	事業所数	派遣人数
公的機関・団体	農林水産省、厚生労働省、世田谷区役所、JETRO（日本貿易振興機構）、国会議員事務所 ほか	37	73人
マスコミ・出版関係	RKB 毎日放送報道局、毎日新聞、読売新聞、三省堂 ほか	26	34人
ホテル・航空・運輸	富士屋ホテル、ホテルニューオータニ、京王プラザホテル、アサヒトラベルインターナショナル ほか	16	36人
建設・住宅・ビル管理	戸田建設、大成建設、清水建設、三菱電機ビルテクノサービス ほか	17	29人
情報・電機・電子機器	トランス・コスモス、富士ゼロックス、イトーキ、内田洋行 ほか	12	29人
金融・流通・サービス	りそな銀行、いちよし証券、レナウン、オンワード樫山、信金中央金庫、神奈川トヨタ自動車、ニッコクトラスト、プランタン銀座 ほか	45	88人
医療・スポーツ・美容	P&G マックスファクター、関東中央病院、BSC ウォータースポーツセンター ほか	13	22人
その他（海外インターンシップを含む）		14	45人
合計		180	356人

C 進路状況

2013年度（2014年3月）卒業生の進路は次の通りである。（2014年5月23日現在）

## ■卒業生数と就職状況

研究科	専攻	A 卒業生	B 大学院 進学者	C 就職 希望者	D 就職者	希望者の 就職率 (D/C)	その他 進学	その他	大学院の進学者 を除いた就職率 (D/A-B)
文学	日本文学 博士前期課程	1	0	1	1	100.0%	0	0	100.0%
	英米文学 博士後期課程	2	0	2	2	100.0%	0	0	100.0%
	言語教育・コミュニケーション 博士後期課程	1	0	1	1	100.0%	0	0	100.0%
	言語教育・コミュニケーション 博士前期課程	4	2	2	2	100.0%	0	0	100.0%
	計	8	2	6	6	100.0%	0	0	100.0%
生活 機構	生活文化研究	6	0	6	5	83.3%	0	1	83.3%
	心理学	14	0	12	10	83.3%	0	4	71.4%
	福祉社会研究	3	0	3	3	100.0%	0	0	100.0%
	人間教育学	2	0	2	2	100.0%	0	0	100.0%
	環境デザイン研究	10	0	8	6	75.0%	1	3	60.0%
	生活科学研究	4	1	3	2	66.7%	0	1	66.7%
	生活機構学	5	0	4	4	100.0%	0	1	80.0%
計	44	1	38	32	84.2%	1	10	74.4%	
大学院計		52	3	44	38	86.4%	1	10	77.6%

学部	学科	A 卒業生	B 大学院 進学者	C 就職 希望者	D 就職者	希望者の 就職率 (D/C)	その他 進学	その他	大学院の進学者 を除いた就職率 (D/A-B)
人間文化	日本語日本文	153	5	133	125	91.6%	3	20	82.2%
	英語コミュニケーション	202	3	189	187	96.2%	3	9	91.3%
	歴史文化	111	9	92	90	93.5%	2	10	86.1%
	国際	89	2	76	72	93.3%	4	11	82.4%
	計	544	17	484	455	94.0%	12	60	86.3%
人間社会	心理	95	7	78	75	90.4%	1	12	85.2%
	福祉社会	93	0	87	86	96.6%	2	5	92.5%
	現代教養	102	1	95	92	95.7%	2	7	90.8%
	初等教育	110	2	104	104	100.0%	1	3	96.3%
	計	397	10	369	354	95.9%	5	28	91.5%
生活科	環境デザイン	177	7	161	158	95.0%	3	9	92.1%
	管理栄養	89	0	87	87	100.0%	0	2	97.8%
	健康デザイン	91	1	87	87	100.0%	0	3	94.4%
	計	352	8	332	324	97.6%	3	17	94.2%
大学計		1,293	35	1,185	1,133	95.6%	20	105	90.1%
学部	学科	A 卒業生	B 大学 進学者	C 就職 希望者	D 就職者	希望者の 就職率 (D/C)	その他 進学	その他	大学の進学者 を除いた就職率 (D/A-B)
短期大	文化創造	95	45	31	24	78.8%	7	17	52.0%

※本学の「2014年3月卒」には2013年9月卒が含まれます。

## ■学位授与者

### ●博士前期課程・修士課程

研究科	専攻	大学院修了 確定者数
文学研究科	日本文学専攻 博士前期課程	1
	英米文学専攻 博士前期課程	0
	言語教育・コミュニケーション専攻	4
	計	5
生活機構研究科	生活文化研究専攻	6
	生活科学研究専攻	4
	心理学専攻	14
	福祉社会研究専攻	3
	環境デザイン研究専攻	7
	人間教育学専攻	2
	計	36
大学院計		41

### ●学部・短大

学部	学科	学部卒業 確定者数
人間文化学部	日本語日本文学科	151
	英語コミュニケーション学科	196
	歴史文化学科	110
	国際学科	87
	計	544
人間社会学部	心理学科	95
	福祉社会学科	93
	現代教養学科	99
	初等教育学科	110
	計	397
生活科学部	環境デザイン学科	172
	管理栄養学科	89
	健康デザイン学科	91
	計	352
学部計		1,293

短大	学科・専攻	短大卒業 確定者数
専攻科	国語国文学専攻	2
	英語英文学専攻	0
	生活文化学専攻	1
	計	3
短期大学部	文化創造学科	93
	計	93
短大計		96

■主な就職先

学部学科	職種	主な就職先企業
人間文化学部 日本語日本文学 学科	一般事務職	みずほフィナンシャルグループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ住宅ローン保証、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、茨城県信用組合、日本郵便、ダイワラクダ工業、伊藤忠ブランテック、大京アステージ、清水地所
	総合職	昭和信用金庫、クレディセゾン、スターツグループ、トランス・コスモス、博報堂DYインターソリューションズ、テンプスタッフ、ロフト、日本年金機構、朝日航洋、香川県農業協同組合
	準総合職	東京スター銀行、あいおいニッセイ同和損害保険、ライフコーポレーション、日本生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、パナソニックホームエンジニアリング、サンドラッグ、オンワード樫山、レナウン、レリアン
	公務員	埼玉県、群馬県邑楽郡千代田町、静岡県賀茂郡河津町
	中学校・高等学校教諭	埼玉県さいたま市、茨城県、桜華女学院中学校・日体桜華高等学校
人間文化学部 英語コミュニケーション 学科	一般事務職	三菱電機、京セラ、東ソー、みずほフィナンシャルグループ、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、大和住銀投信投資顧問、茨城県信用組合、マイنز農業協同組合、みずほインターナショナルビジネスサービス、若築建設、三井不動産リアルティ、大京アステージ、国際紙パルプ商事、山善、サンゲツ、伊藤忠ロジスティクス、ソニーミュージックコミュニケーションズ
	総合職	伊藤園、味の素冷凍食品、常陽銀行、七十七銀行、バンコック銀行、沼津信用金庫、しのめ信用金庫、リコーロジスティクス、コーエーテクモホールディングス、山形放送、ウエザーニューズ、JTBコーポレートセールス、クラブツーリズム、日本体育大学
	準総合職	SMB C日興証券、いちよし証券、東海東京証券、あいおいニッセイ同和損害保険、アプラス、エイチ・アイ・エス、
	営業職	日本郵便、富国生命保険
	客室乗務職、地上職	全日本空輸、JALスカイ、スカイネットアジア航空、ANAエアポートサービス
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、米国三越、パナソニックホームエンジニアリング、東京會館、コンラッド東京、パークハイアット東京、シェラトン都ホテル東京、東日本旅客鉄道、オンワード樫山、サマンサタバサジャパンリミテッド、ファーストリテイリング、ユナイテッドアローズ、ノエビアホールディングス、クラブメッド、東武トラベル
	公務員	防衛省 陸上自衛隊、千葉県警察本部
	アナウンス職	佐渡テレビジョン
人間文化学部 歴史文化学科	一般事務職	筑波銀行、白河信用金庫、三井不動産リアルティ、自重堂、JKホールディングス、ヤマトプロテック、本荘第一病院
	総合職	磐田信用金庫、全国健康保険協会、トランス・コスモス、TOTOエンジニアリング、クロスプラス、エノテカ、レオパレス21、
	準総合職	ゆうちょ銀行、近畿日本ツーリスト、エイチ・アイ・エス
	営業職	日本生命保険、住友生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、パナソニックホームエンジニアリング、東日本旅客鉄道、ルミネ、オンワード樫山、イトキン、トリンプ・スタッフ・サービス
	公務員	栃木県足利市
人間文化学部 国際学科	一般事務職	三菱東京UFJ銀行、ジェコス、大京アステージ、菱電商事、ジュピターコーポレーション
	総合職	千葉興業銀行、サンシャインシティ、トランス・コスモス、スターツグループ、クロスプラス、イオンリテール、ムーンバット
	準総合職	東京都民銀行
	営業職	第一生命保険、千葉銀行、みずほ証券、エイチ・アイ・エス
	客室乗務員	全日本空輸
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、明治記念館グループ、シェラトン都ホテル東京、リゾートトラスト、

学部学科	職種	主な就職先企業
人間社会学部 心理学科	一般事務職	みずほフィナンシャルグループ、君津信用組合、ディスコ、長谷工コーポレーション、三井不動産リアルティ、三井住友トラスト不動産、加賀電子、オリエントコーポレーション、新日本海フェリー、東京港健康保険組合、東京社会保険協会
	総合職	東邦銀行、中南信用金庫、ラオックス
	準総合職	三菱東京UFJ銀行
	営業職	協和日成、第一生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、ユナイテッドアローズ、青山商事、コナカ、京王プレッソイン
	福祉職	セントスタッフ
	公務員	埼玉県鴻巣市
人間社会学部 福祉環境学科	福祉職	東京都知的障害者育成会、横浜市社会福祉協議会、横浜市リハビリテーション事業団、川崎市社会福祉事業団、埼玉県済生会鴻巣病院、新栄会滝野川病院、福井記念病院、同愛会、藤沢育成会
	保育士	東京都済生会中央病院付属乳児院、十愛療育会、ちとせ交友会、洗心会、大倉山元気の泉保育園、等々力保育園、サクセスアカデミー
	医療ソーシャルワーカー	横須賀市立うわまち病院、戸田中央医科グループ、KNI北原国際病院、森山リハビリテーション病院
	一般事務職	農林中央金庫、三井住友銀行、ソフトバンク、自重堂、ロックペイント、オリエントコーポレーション、
	総合職、準総合職	百十四銀行、大和証券、ANAケータリングサービス
	営業職	明治安田生命保険、三井生命保険、富国生命保険
	販売職、サービス職	パナソニックホームエンジニアリング
	教員	潤徳女子高等学校
	公務員	神奈川県茅ヶ崎市
人間社会学部 現代教養学科	一般事務職	三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、明治安田生命保険、いちよし証券、ジャックス、住友電気工業、ディスコ、積和不動産、大京アステージ、東京建物アメニティサポート、日本ハウズイング、戸田中央医科グループ、三菱電機ビルテクノサービス、日本郵政
	総合職	東武百貨店、埼玉縣信用金庫、世田谷信用金庫、みずほ証券、三井不動産リフォーム、東日本ハウス、日本食研ホールディングス、トランス・コスモス、ブリヂストンタイヤジャパン、高齢・障害・求職者雇用支援機構、京王プラザホテル、ベネフィット・ワン
	準総合職	SMB C日興証券、百十四銀行、丸全昭和運輸、成田市農業協同組合、日本郵便
	営業職	日本生命保険、三井生命保険、ALSOK総合警備保障
	客室乗務員	日本航空
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、JTB首都圏、パナソニックホームエンジニアリング、富士屋ホテル、ロクシタンジャパン、レナウン
人間社会学部 初等教育学科	小学校教員	東京都、神奈川県、埼玉県、埼玉県さいたま市、千葉県、早稲田大学系属早稲田実業学校初等部
	幼稚園教員	岩崎学園 附属磯子幼稚園、愛和太陽幼稚園、ちぐさ幼稚園、馬込なかよし幼稚園、エンゼル幼稚園、まどか幼稚園、丸山幼稚園
	保育士	東京都世田谷区、東京都練馬区、東京都八王子市、東京都府中市、埼玉県さいたま市、埼玉県草加市、埼玉県熊谷市、静岡県伊東市、杉の子保育会、横浜YMCA保育園
	総合職	図書印刷、ミサワホーム東京、ピップ
	一般職	三菱東京UFJ銀行、トヨタファイナンス
	客室乗務員	スカイネットアジア航空
	公務員	千葉県四街道市

学部学科	職種	主な就職先企業
生活科学部 環境デザイン 学科	設計・製図職	清水建設、五洋建設、フジタ、大成設備、積水ハウス、積水ハウスリフォーム、大和ハウス工業、三井ホーム、東栄住宅、新昭和、トランス・コスモス、夢真ホールディングス
	総合職	パナソニックリビング首都圏・関東、新昭和、タマホーム、日立アーバンインベストメント、ルミネ、中央化学、島忠、青梅信用金庫、イオン保険サービス、グリー、アンテプリマジャパン
	準総合職	第一生命保険、三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	営業職	大和ハウス工業、積水ハウスリフォーム、茨城セキスイハイム、第一生命保険、三井生命保険
	一般事務職	さわやか信用金庫、城北信用金庫、市川市農業協同組合、トヨタ輸送、野村リビングサポート、三井不動産ファシリティーズ、大京アステージ、JFE商事鉄鋼建材
	販売職、サービス職	パナソニックホームエンジニアリング、タカスタンダード、東日本旅客鉄道、ルミネ、オンワード樫山、ルック、レナウン、ワコール、サマンサタバサジャパンリミテッド、三越伊勢丹
生活科学部 管理栄養学科	栄養士、管理栄養士	神奈川県横浜市、新潟県新潟市、横須賀市立うわまち病院、茨城県厚生農業協同組合連合会、上尾中央総合病院、平成立石病院、牛久愛和総合病院、長野赤十字病院、エムサービス関東、グリーンハウス、西洋フード・コンパスグループ、日清医療食品、富士産業、LEOC、カワチ薬品、クリエイトエス・ディー、スギ薬局、JPホールディングス
	研究開発、品質管理職	キューピー、フジッコ
	総合職、準総合職	日本製粉、テーブルマーク、サンデリカ、日本食研ホールディングス、ジェイアール東海バスセンター、千葉銀行
	一般事務職	みずほフィナンシャルグループ、三菱UFJニコス
	販売職、サービス職	ファンケル
	公務員	東京都瑞穂町
生活科学部 健康デザイン 学科	栄養士	エムサービス関東、カワチ薬品、JPホールディングス、日清医療食品、富士産業、LEOC、こどもの森、高砂福祉会
	研究開発、品質管理職	キューピー、キリン協和フーズ、滝沢ハム
	総合職、準総合職	ケンコーマヨネーズ、わらべや日洋、伊藤ハムミート販売東、エノテカ、千葉信用金庫、大東京信用組合、SBIモーゲージ、東邦電気工業、トヨタレンタリース東京
	営業職	協和発酵キリン、東急リバブル、アウディジャパン販売
	販売職、サービス職	ロック・フィールド、オンワード樫山、ルネサンス、花王カスタマーマーケティング
	一般事務職	三菱東京UFJ銀行、筑波銀行、さわやか信用金庫、ジャックス、三井不動産リアルティ、加藤製作所、東海澱粉、食糧学院、ヤンマーアグリジャパン、野村貿易
	中学校・高等学校教諭	東京都、神奈川県、神奈川県相模原市
公務員	茨城県取手市	
短期大学部 文化創造学科	編集職	ルールブック
	福祉職	アースサポート
	総合職	フィッツコーポレーション
	営業職	丸三証券、明治安田生命保険
	販売職、サービス職	フルスロットルズ、クロスカンパニー、和僑、ロートレ・アモン、イトキン、オンワード樫山
	一般事務職	ヒロセ電機、染めQテクノロジー、増成織ネーム、立川ブラインド工業、ビーイング、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ、スズキ自販神奈川、ホンダ茨城南、横浜トヨペット、みずほビジネスサービス、新宿区役所
	その他	Rabikeri

### ■主な進学先

学部名	進学先大学院等
人間文化学部	昭和女子大学大学院、立教大学大学院、東京学芸大学教職大学院、國學院大學大学院、University of Birmingham (イギリス)、The University of Manchester (イギリス)、University of Westminster (イギリス)

人間社会学部	昭和女子大学大学院、滋賀大学大学院経、東京学芸大学大学院
生活科学部	昭和女子大学大学院、群馬大学大学院、東京理科大学大学院、首都大学東京大学院、
短期大学部（編入学）	昭和女子大学、実践女子大学、中央大学、東洋英和女学院大学、白百合女子大学、大正大学、清泉女子大学、埼玉学園大学、関西外国語大学、鎌倉女子大学、日本映画大学、駒澤大学

## ■産業別就職状況

学部	人間文化学部					人間社会学部					生活科学部				合計
	日本語 日本語	英語 コミュニケーション	歴史文化	国際	計	心理	福祉社会	現代教養	初等教育	計	環境 デザイン	管理栄養	健康 デザイン	計	
就職者数	125	187	90	72	474	75	86	92	104	357	158	87	87	332	1163
農林水産業・鉱業 建設業	4.8%	3.2%	4.4%	5.6%	4.2%	4.0%	1.2%	10.9%	1.0%	4.2%	19.6%	0.0%	3.4%	10.2%	5.9%
不動産業	6.4%	1.6%	4.4%	6.9%	4.2%	5.3%	0.0%	6.5%	0.0%	2.8%	4.4%	0.0%	4.6%	3.3%	3.5%
製造業	3.2%	6.4%	6.7%	2.8%	5.1%	9.3%	2.3%	6.5%	0.0%	4.2%	8.2%	13.8%	12.6%	10.8%	6.4%
出版・印刷業	2.4%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	1.0%	0.6%	2.5%	0.0%	0.0%	1.2%	0.9%
卸売・小売業	23.2%	20.9%	21.1%	26.4%	22.4%	26.7%	10.5%	10.9%	1.9%	11.5%	27.8%	49.4%	40.2%	36.7%	23.1%
金融業	8.8%	13.9%	13.3%	11.1%	12.0%	12.0%	9.3%	19.6%	1.9%	10.4%	5.7%	3.4%	9.2%	6.0%	9.8%
運輸業	1.6%	5.9%	3.3%	2.8%	3.8%	2.7%	0.0%	3.3%	1.0%	1.7%	1.9%	2.3%	0.0%	1.5%	2.5%
教育・学校支援	8.8%	5.3%	4.4%	2.8%	5.7%	2.7%	1.2%	0.0%	60.6%	18.5%	1.9%	1.1%	8.0%	3.3%	8.9%
医療・福祉	2.4%	2.1%	11.1%	1.4%	3.8%	5.3%	62.8%	5.4%	29.8%	26.3%	3.8%	23.0%	6.9%	9.6%	12.4%
調査研究・専門技術 サービス	2.4%	1.6%	1.1%	0.0%	1.5%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.3%	4.4%	0.0%	2.3%	2.7%	1.5%
放送・広告	1.6%	1.6%	0.0%	2.8%	1.5%	0.0%	1.2%	4.3%	0.0%	1.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.9%	1.3%
情報通信業	11.2%	10.7%	4.4%	5.6%	8.9%	12.0%	3.5%	8.7%	0.0%	5.6%	7.0%	1.1%	1.1%	3.9%	6.4%
サービス業	19.2%	24.6%	21.1%	31.9%	23.6%	16.0%	5.8%	22.8%	1.0%	10.9%	10.8%	1.1%	9.2%	7.8%	15.2%
公務	4.0%	1.1%	1.1%	0.0%	1.7%	4.0%	1.2%	0.0%	1.9%	1.7%	0.0%	4.6%	1.1%	1.5%	1.6%
その他	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.3%	0.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## D 基礎学力の向上

### 1. 基礎学力の向上と初年次教育

基礎教育研究センターを充実させ、基礎学力向上の学習機会を提供した。利用者数 75 人。

## E 心身の健康増進

健康デザイン学科、管理栄養学科を中心に全学的な取り組みとして「輝け☆健康『美』プロジェクト」を立ち上げ、健康増進を図った。

- A. 学生食堂のメニュー開発
- B. エクササイズ配信
- C. 「世田谷パン祭り」への参加
- D. 山崎製パンとのコラボパン販売

## 4. 東日本大震災被災者支援

### A 学生のボランティア活動

2011 年度からコミュニティサービスラーニングセンターで継続支援する宮城県石巻市と女川町で『東日本大震災被災地を応援する学生ワークキャンプ』を実施した。

また、学生ボランティアコーディネーターを中心に 4 月 27 日に学内にてドキュメンタリー映画「3 月 11 日を生きて～石巻・門脇小・人びと・ことば～」上映会を実施した。

学生ワークキャンプの実施概要は次の通りである。

開催日：8月7日～8月11日（4泊5日）

参加学生数：23名 引率教職員：2名

活動内容：福祉仮設住宅でのお茶会と足湯・女川の子どもたちに多くの運動機会をつくるための支援  
団体「アクティブクラブ」への参加・「まけないぞう（壁掛けタオル）」づくり・草むしり

## B 学納金等の支援

被災指定地域の受験生に対して、検定料・入学金・学納金の特別支援措置をとった。

対象受験生数：115人	支援総金額：7,153,000円
-------------	------------------

## 5. 地域貢献・連携活動

### A 子育て支援フェスタ

世田谷区後援・NPO 昭和等との共催で、子育て支援フェスティバル「三茶子育てファミリーフェスタ in 昭和女子大学」を本学キャンパスで開催した。

イベント名	三茶子育てファミリーフェスタ in 昭和女子大学
内容	学生と地域との協働による子ども子育て支援情報の提供
開催日時	2013年6月16日（日）10:30～14:30
主催者等	主催：昭和女子大学／共催：特定非営利活動法人NPO 昭和 後援：世田谷区／協力：太子堂1丁目町内会
参加団体数	ボランティア学生が子どもとふれあう企画を催した団体：12団体 実演と物品販売を行った団体：17団体 協賛企業：38社 ボランティア学生数：433人
来場者数	約1,400人

### B エフエム放送による地域情報の提供

学生が企画・制作・放送する地域情報番組をエフエム世田谷の協力を得て運営した。

番組名	内容
キャンパス RADIO カンパニー 昭和女子大知りた girl!	子育てに関する情報や「ボロ市」等イベントの紹介、 「世田谷芸術散歩」制作

### C 都市と農村を結ぶ文化交流活動

夏季休暇期間に地域貢献を中心としたボランティアプログラムとして、信州高遠青少年自然の家を拠点とした長野県伊那市との交流活動「伊那の谷・風の学校ワークキャンプ」を実施した。学生はボランティア活動を通して、人と人、人とコミュニティの「縁」を結ぶ架け橋になることを目的に、伊那の人々が培ってきた経験や知識を体験的に学び、都市と農村の相互交流の「縁」を結ぶために何ができるかを考え提案をした。

実施概要は次の通りである・

開催日：8月29日～9月2日（4泊5日）

参加学生数：29人 引率教職員：2人

活動内容：「子どもの育ち」「食文化」「伝統文化」「自然との共生」の4つのフィールドワークチームで8か所の活動先へ分かれて体験活動をした。



## 6. 産学連携活動

### A 2013年度研究セミナー・公開講座一覧

No	開催日	テーマ	発表者	参加者数
1	3月23日	プロジェクト研究発表会		76人
2	3月30日	研究セミナー「これからの世界で君ができること。」	株式会社電通 樋口景一氏	202人
3	6月29日	研究セミナー「これからの世界で君ができること。2」	株式会社資生堂 澁谷克彦氏	59人
4	7月20日	公開講座「視聴率1位の次に目指すもの」	テレビ朝日 渡辺慎一氏	22人
5	10月26日	公開講座「いま企業で求められるのは「新しい価値」を創造できる人材」	住友商事株式会社 河野純子氏	22人
6	11月16日	研究セミナー「21世紀を生きる君に学んでほしいホスピタリティカー日本航空の実践ホスピタリティ」	日本航空 飴善晶子氏 竹中哲也研究員	71人
7	2月22日	公開講座「実践的研究のすすめ」	明治大学専門職大学院 上原征彦教授	28人
8	3月1日	プロジェクト研究発表会		83人

### B 2013年度プロジェクト一覧

	プロジェクト名	コラボレーション先	学生参加人数	一般参加者
1	三茶・三宿まちなかプロジェクト	下の谷商店街・三宿四二〇商店街・太子堂商店街	20人	18,400人
2	世田谷公園売店改善プロジェクト	世田谷サービス公社・三宿四二〇商店街・世田谷ものづくり学校	15人	5人
3	木曾漆器デザインプロジェクト	財団法人塩尻木曾地域地場産業振興センター	5人	11人
4	まちおこし応援プロジェクト 三軒茶屋ーよさこい祭りの広報・運営ー	三軒茶屋銀座商店街振興組合・早稲田大学踊り侍	88人	900人
5	フラッグのわプロジェクト	下北沢音楽祭実行委員会・世田谷区北沢統合支所	10人	600人
6	渋谷 -Shibu-san- made in Shibuya products	(有) アクリアル・山田照明株式会社	8人	2,000人
7	桜新町ねぶたプロジェクト	桜新町商店街振興組合	20人	50,000人
8	とちぎ女子いちご普及応援プロジェクト	栃木いちご王国株式会社	11人	1,000人
9	「三茶を楽しもう！」プロジェクト	連携 18 大学世田谷区商業政策課、世田谷区消費政策課、茶澤通商店街、まちづくり公社、協力団体：世田谷区消費生活連合会・世田谷区清掃・リサイクル課	25人	1,600人
10	配財プロジェクト with SWU	一般社団法人配財プロジェクト・地域（墨田区、世田谷区、渋谷区）	30人	430人
11	健康体操リーダー養成講座&派遣事業	区立社会福祉協議会	7人	20人
12	世田谷美術館「SeTaBi Café」ピクニック・ランチボックス（PLB）プロジェクト	株式会社世田谷サービス公社・世田谷美術館	24人	216人

	プロジェクト名	コラボレーション先	学生参加人数	一般参加者
13	Bunkamura ル・シネマ×昭和女子大学 ミニシアター・プロジェクト	文化村ル・シネマ	15 人	5 人
14	世田谷芸術文化プロジェクト	世田谷文化財団	5 人	1 人
15	ホンノバ・プロジェクト ―渋谷から東北へ― 本による交流の場を作ろう！	日本ユネスコ協会・伊東建築塾・朝日新聞社	20 人	500 人
16	手をつなごう♪下馬福祉工房&福祉社会学科 コラボカフェ	区立下馬福祉工房	39 人	300 人
17	輝け☆健康「美」プロジェクト	TRC 他	200 人	3,425 人
19	ポケットガーデンボランティア活動	国交省等	10 人	―
20	東京都中小企業連合会とのコラボによるデザイン活動	メッキ加工の会社ヒキフネとのコラボ	13 人	20 人
21	僱事型インターンシップ（法政大学を中心とする 7 大学の活動）	十条商店街	8 人	不明
22	渋谷センター街七夕まつり	渋谷センター商店街振興組合	40 人	160 人
23	渋谷桜丘町づくり―Beyond 246―	渋谷駅前共栄界・桜丘町会	10 人	50 人
24	昭和女子大学薬袋ゼミと「はこねのもり女子大学」とによる箱根地域の新たな魅力・「はこじょ」創造プロジェクト	はこねのもり女子大学	9 人	9 人
25	SWeets dream -setagaya- (新しい和菓子の提案)	亀屋商店	20 人	5 人
26	世田谷そだちの野菜料理レシピの提案	世田谷区都市農業課	4 人	―
27	学生対象の料理写真を上手に撮影するコツ講習会	写真家：川津貴信	17 人	3 人
28	健康美プロジェクト冊子編集プロジェクト	健康デザイン学科健康美プロジェクト	20 人	―
29	これからの暮らしと女性	リスト株式会社	12	15 人
30	芋のレシピ	大井町役場	4 人	804 人
31	直売施設の店舗デザイン	大井町役場	4 人	3 人
32	学生のアイデア募集	株式会社オルセン	11 人	4 人
33	勇気の翼ファッションショー	NPO 勇気の翼インクルージョン	67 人	600
34	産学連携ビジネスコンテスト参加	法政大学主催	1 人	不明
35	食育インターンシップおさかな教室	東京家政大学主催	0	不明

### C 社会人対象講座

これまで開設していた社会人女性を対象とする再就職・起業支援講座を発展的に解消し、あらたに社会人女性を支援する「昭和女子大学キャリアカレッジ」の開校準備を進めた。そのイベントとして3月には講演会を開催。起業家養成コースのプログラムを公開し、受講生の募集を開始した。

日時：3月1日（土）10:00～12:00
場所：昭和女子大学 80年館 6階 オーロラホール
■記念講演 「企業戦略としてのダイバーシティマネジメントー女性のエンパワーメントー」
講師：内永 ゆか子 氏（特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク理事長）
■特別講話 「キャリアカレッジで学ぶ女性の起業」
講師：熊平美香 氏（日本教育大学院大学学長）

## 7. 科学研究費助成事業採択状況

2013年度に科学研究費助成事業に採択された研究は以下の通りである。（新規 11・継続 29 合計 40件）

種別	研究内容	氏名
1 [新規] 基盤研究 (B) (一般)	人格形成の中核となる幼・小・中連携による道徳教育推進プログラムの開発に関する研究	押谷由夫 教授
2 [継続] 基盤研究 (B) (一般)	日本人英語学習者の話し言葉・書き言葉のコーパス整備と教材開発	池上嘉彦 特任教授
3 [継続] 基盤研究 (B) (一般)	近世日越交流史の再構築	菊池誠一 教授
4 [継続] 基盤研究 (B) (一般)	健康危機管理のための突発的生起事象を検出する統計モデル	丹後俊郎 客員教授
5 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	EBNに基づくロコモティブシンドローム予防のライフスタイル変容教育効果の検討	大木和子 教授
6 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	咀嚼・嚥下過程での食塊挙動と食品の物性に関する体系的な研究	森高初恵 教授
7 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	ベトナム・ハノイ 36 通り地区の景観および居住空間の保存すべき特質	内海佐和子 非常勤講師
8 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	日本の農山漁村における持続可能な生活経営と女性農業者の情報アクセスに関する研究	粕谷美砂子 准教授
9 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	都市街区における路地空間の利用と空間的効果に関する研究	金子友美 准教授
10 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	地方における狂言の伝承についての研究 —馬瀬狂言資料を中心に—	山本晶子 准教授
11 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	古・中英語期の女性像の受容と変容 —Aelfric のテキストと言語の基礎的研究	島崎里子 准教授
12 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	二〇世紀前半に現在の中国領内で刊行されたモンゴル語定期刊行物の研究	呼和巴特爾 教授
13 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	想定外の危機と組織の失敗 —金融危機と原発危機の事例分析—	久原正治 教授
14 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	知的障害者の離職プロセスを手掛かりとした就労モデルの構築	根本治代 専任講師
15 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	心的距離による利用可能知識の接近可能性変化とその調整変数に関する実験研究	藤島喜嗣 准教授
16 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	紅麴の機能性評価と食品への有効活用	高橋真美 専任講師
17 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	下地調整技法からみた文化財学的漆工品の研究 —中世の舶載及び国産漆器を中心に—	武田昭子 教授

種別	研究内容	氏名
18 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	繊維遺物鑑別のための画像解析データベースの構築	伊藤美香 助教
19 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	ノモンハン事件をめぐる中ソ、中モ関係についての研究	ボルジギン呼斯勒 准教授
20 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	様態性の尺度に視点を置く英語副詞配列の分析とその言語習得論的検証	鈴木博雄 教授
21 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	関東・中部地方における縄文時代中期大規模環状集落崩壊過程をめぐる研究	山本暉久 教授
22 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	体制転換からEU統合へ至る移行期の東欧におけるメディア環境の変容	清水 真 准教授
23 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	日本のソーシャルワークにおけるコンサルテーションモデルの構築	北本佳子 教授
24 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	保護者にとっての子どもの入園の意味 —「親としての発達」の視点から	藤崎春代 教授
25 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	最新メディア教育を活用した幼小連携スタートプログラムの開発研究	駒谷真美 准教授
26 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	昭和時代の食物に関する記述データの保存と食文化史的解析 —新聞・雑誌・書籍—	大橋きょう子 教授
27 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	人形浄瑠璃の操り方の変遷に関する研究 —江戸系鉄砲ざしの検証と再現—	大谷津早苗 教授
28 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	英語話者の物語コーパス作成とレキシカルフレーズ中心のリスニング教材の提供	金子朝子 教授
29 [新規] 挑戦的萌芽研究	高等学校における道德教育のグランドデザインの開発に関する研究	押谷由夫 教授
30 [継続] 挑戦的萌芽研究	カンボジアの貧困農家への農業生産改善支援策と健康改善支援策の統合による効果の評価	米倉雪子 准教授
31 [新規] 若手研究 (B)	クエン酸の摂取は低酸素血症に伴う続発性多血症の食事療法として有効か？	渡辺睦行 准教授
32 [新規] 若手研究 (B)	学習者データに基づく文法記述の試み —韓国語母語話者を対象に	植松容子 助教
33 [新規] 若手研究 (B)	生活改善運動および新生活運動に関する基盤的研究	松田 忍 専任講師
34 [新規] 若手研究 (B)	児童期における言語的な表示規則の発達過程の解明	田村綾菜 助教
35 [継続] 若手研究 (B)	近世武家住宅における唐紙の用例に関する研究	小粥祐子 助教
36 [継続] 若手研究 (B)	中世東国宗教と文芸伝承の総合的研究 —唱導、縁起、物語を視座として	阿部美香 非常勤講師
37 [継続] 若手研究 (B)	咳による感染症リスクを低減させる建築・設備に関する研究	堤 仁美 専任講師
38 [継続] 若手研究 (B)	まちづくりにおける持続可能なイベントについての研究	内田敦子 助教
39 [新規] 学術図書	英語副詞配列論	鈴木博雄 教授
40 [新規] 学術図書	朱印船貿易絵図の研究	菊池誠一 教授

## 8. 委託研究・研究助成等

2013 年度に企業等から委託・助成を受けた研究は以下の通りである。(14 件)

種別	企業等	氏名
1	委託研究 世田谷区世田谷保健所	石井幸江 准教授
2	委託研究 佐賀市	野口朋隆 准教授
3	委託研究 タマ生化学株式会社	渡辺睦行 准教授
4	委託研究 日本水産株式会社	渡辺睦行 准教授
5	共同研究 日本放送協会	平井聖 特任教授
6	共同研究 株式会社伊藤園	森高初恵 教授
7	共同研究 株式会社明治	飯野久和 教授
8	共同研究 森永乳業株式会社	志賀清悟 教授
9	研究助成 株式会社山田養蜂場	渡辺睦行 准教授
10	研究助成 公益財団法人伊藤記念財団	高尾哲也 教授
11	研究助成 公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	高橋真美 専任講師
12	研究助成 公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	渡辺睦行 准教授
13	その他 株式会社ヒキフネ	桃園靖子 准教授
14	その他 独立行政法人国際協力機構	国際文化研究所

\*職名は 2013 年度時点

## 9. 図書館

2013 年度の蔵書数と図書貸出数は以下の通りである。

### A 蔵書数

種別	冊数等	内訳
図 書	499,100 冊	和書 427,791 冊 (うち近代文庫 68,376) 洋書 71,309 冊 (うち近代文庫 60)
雑 誌	15,085 タイトル	和雑誌 13,980 タイトル (うち近代文庫 4,334) 洋雑誌 1,105 タイトル (うち近代文庫 3)
新 聞	138 タイトル	和新聞 29 タイトル 洋新聞 11 タイトル 近代文庫 98 タイトル
視聴覚資料	21,365 タイトル	
電子ジャーナル	25,242 タイトル (アクセスできるタイトル数)	

## B 利用状況

開館日	265 日
入館者数	171,327 人 (1 日平均入館者数 646.5 人)
貸出冊数	合計 46,215 冊 大学院生 2,870 冊 在学年次生 31,323 冊 卒業年次生 12,022 冊 (学生 1 人あたり貸出数 8.6 冊)

## 10. 海外研修プログラム

### A 昭和ボストン研修プログラム

[対象] 人間文化学部英語コミュニケーション学科・国際学科・短期大学部文化創造学科

プログラム名	研修期間	参加人数
英語コミュニケーション学科 (必修・約 5 か月間) プログラム名=University	9 月 18 日→2013 年 2 月 14 日	91 人
英語コミュニケーション学科 (希望制・約 10 か月間) プログラム名=Four Seasons Program	4 月 4 日→2013 年 2 月 14 日	57 人
英語コミュニケーション学科 (選抜制・約 17 か月間) プログラム名=Boston Long-term Intensive Program	9 月 18 日→2014 年 2 月中旬	23 人
国際学科 (選択希望制・約 4 か月間) プログラム名=DIS Boston Immersion Program	4 月 4 日→7 月 28 日	43 人
合計		214 人

[対象] 全学科

プログラム名	研修テーマ	参加人数
ボストンサマーセッション 研修期間：8 月 19 日→9 月 17 日	アメリカ文化	7 人
	アメリカ食文化	7 人
	ミュージアム	8 人
	心理学	10 人
	ビジネス英語	4 人
合計		36 人

[対象] 英語コミュニケーション学科以外の学部学科

プログラム名	研修期間	参加人数
春期 15 週間ボストンプログラム	4 月 4 日→7 月 28 日	9 人

[対象] 日本語教育・栄養士・教職関係 (3 テーマ)

プログラム名	研修期間	参加人数
日本文化	2月18日→3月5日	15人
アメリカ栄養士研修	2月18日→3月5日	24人
春季アメリカ教育研修	3月7日→3月24日	9人
合計		48人

B 海外宿泊研修

	プログラム名	期間	参加人数	担当学科・専攻
1	ソウル女子大学語学集中講座 [韓国]	8月4日～8月22日	16人	国際交流センター
2	海外考古学実習 [ベトナム]	8月28日～9月13日	8人	歴史文化学科 大学院生活文化研究専攻
3	日本語教育実習 [韓国]	9月1日～9月14日	2人	日本語日本文学科
4	海外デザイン演習 (建築) [オランダ・ベルギー・イタリア・スイス・フランス・モナコ]	9月2日～9月17日	28人	環境デザイン学科
5	北欧研修旅行 [デンマーク・フィンランド]	9月3日～9月12日	20人	福祉社会学科
6	海外デザイン演習 (プロダクト) [ポーランド・チェコ・オーストリア・スロヴァキア・ハンガリー・クロアチア・イタリア]	9月6日～9月17日	34人	環境デザイン学科
7	日本語教育実習 [ベトナム]	9月11日～9月25日	5人	日本語日本文学科
8	クイーンズランド大学英語研修 [オーストラリア]	2月15日～3月22日	9人	国際交流センター
9	春季ロイヤルローズ大学海外インターンシップ [アメリカ・カナダ]	2月15日～3月9日	4人	国際交流センター
10	春季ヨーロッパ研修 [オーストリア・ドイツ・フランス]	2月17日～3月1日	21人	国際交流センター
11	東南アジア歴史実習 [ベトナム]	2月17日～2月28日	9人	国際交流センター
12	上海交通大学中国語研修 [中国]	2月22日～3月16日	4人	国際交流センター
13	上海交通大学 HSK 講座 [中国]	3月3日～3月21日	15人	国際学科

C 海外協定校との交換留学制度

協定校	派遣人数(うち必修認定留学:国際学科)	受入人数
上海交通大学 [中国]	32人 (26人)	—
ソウル女子大学 [韓国]	15人 (14人)	4人
UCC 大学 [デンマーク]	なし	1人
ワルシャワ大学 [ポーランド]	1人	なし

## 1. 将来計画委員会

「昭和スタイル」で培うグローバルな総合力を中期的目標とした3年目（完成年）として2012年度に引き続き、現状と課題を3分野に整理してワーキンググループを設置。昨年度委員会で決議された案件をすべて実行に移した。

## ■ワーキンググループと活動内容

ワーキンググループ	活動内容
全人教育強化グループ	1 4年生対象の春季寮を初めて実施した。平和学習の一環として赤山地下壕跡について講師を招き講義を受けた後実際に訪れて見学をした。また外部講師（ネイティブイングリッシュスピーカー）18名により英語漬けの1日（English Camp）を体験した。
学習・進路強化グループ	1 6年生の前期末試験を9月から7月に移行して実施をした。生徒は自分の評定平均値を夏休み前に知ることができ、大学受験に資することができた。 2 9月に全クラスに電子黒板・PC・書画カメラを導入した。これらを活用することによって、授業をより多層に組み立てることができ、生徒の学習意欲の向上を図ることができた。
グローバル化推進グループ	1 プレ選択制海外研修旅行を実施した。 2014年度導入に向けて、ベトナム、マレーシア、オーストラリアを訪問するブレ研修旅行を4年生・5年生の希望者に対して12月に実施した。生徒たちは与えられた機会を十分に生かし、多くの学びを得た。また次年度に向けて有効な情報収集をすることができた。

## 2. グローバルクラス設置準備委員会

中期計画としてのグローバルクラス設置のため、グローバルクラス設置準備委員会を8月に立ち上げた。

## 3. スーパーグローバルハイスクールに指定される

文部科学省のスーパーグローバルハイスクール（SGH）構想を受け、上記委員会の中にSGH担当を設け、グローバルクラス担当とSGH担当のそれぞれに委員長を立て活動を開始した。

SGH申請に向け会議を重ね、昭和女子大学の支援を得て申請書を作成し、2月に申請、書類審査、3月のヒアリングを経て3月28日に文部科学省からスーパーグローバルハイスクールの指定を受けた。

## 4. 研究授業

全教員がICTを活用する研究授業を行うとともに、他の教員の研究授業を5回以上参観し、お互いに授業力を高める機会にすることができた。

## 5. 海外研修プログラム

## A ポストン研修

2013年度 The Boston Mission

グループ名	研修期間	参加生徒数	引率教員数
第1班	2014年 3月 6日→17日	2年生 118人	6人
第2班	2014年 3月 17日→28日	2年生 118人	6人



## B 英国短期留学

英国短期留学（希望者）の参加人数は以下の通りである。

研修先	研修期間	参加生徒数	引率教員数
イギリス・フランス	3月 14日→3月 28日	51人	2人

## 6. 保護者との連携

保護者会を除く SPC（Showa Parents Club）活動（7回）

実施日	内容	対象	参加数
5月 15日	学寮見学	1年生	34人
5月 22日	授業参観	全校	490家族
5月 29日	コーラス	全校	14人
10月 9日	学寮見学	2年生	28人
10月 22日	授業参観	全校	222人
10月 24日	授業参観＋クラブ見学会	全校	244人
12月 7日	クリスマスリース作り	全校	16人

## 7. 進学状況

A 2013年度卒業生の進路は、以下の通りである。

内容		人数
大学	学内進学者	68人
	学内進学者（五修生）	11人
	学外進学者	126人
短大	学外進学者	4人
専門学校進学者		1人
浪人等		3人
合計		213人

B 他大学合格実績は以下の通りである。

国公立	早慶上理	GMARCH	その他大学
3人	22人	54人	328人

合格者数は延べ人数

## 1. 危機管理対応

- A 地震などの災害対応の充実を前年度に引き続き図った。
- B 食物アレルギーに対応したマニュアルの作成と給食での誤食、誤飲防止の手立てをとった。
- C 教職員メール一斉配信システムの運用を開始した。

## 2. 教育の資質向上

- A 研究会・研修会への参加を教師に奨励し、FD活動を推進した。
  - 1 初等部内での授業研究会・・・5回
  - 2 初任者研修会・・・10回
  - 3 全体研修会・・・6回
  - 4 日本私立小学校連合会夏季研修への参加
  - 5 東京私立初等学校協会の研修会への参加
  - 6 各種学外研修会への多数の教員の参加
- B 5月1日に「第4回学校の創立を祝う会」を実施。2～6年生児童が同窓会員である太田鈴子・昭和女子大学教授の講話を聴く機会を設けた。
- C 各種大会等への参加
  - 1 第29回東京都私立小学校児童作品展「ほらできたよ」への出品
  - 2 第3回世田谷子ども駅伝大会への参加
  - 3 第3回東京私立小学校ダンス発表会への参加
  - 4 第27回東初協音楽祭「さあ、はじめよう」への参加
- D 初等部主催文化行事の開催
  - 1 映画『ティンカー・ベルと月の石』
  - 2 英国 女王陛下の近衛軍楽隊の演奏
  - 3 劇団あとむの音楽劇「気のいいイワンと不思議な小馬」
- E 教育実習の実施
  - 教育実習：初等部卒業 他大学の学生3人
  - 給食実習：昭和女子大学生生活科学科 学生4人
- F 海外小学校との交流の実施
  - ホイアンのルオンティービン小学校との交流 2年目を実施

## 3. 設備および備品の充実

- A システムの高機能化
  - 1 南側校庭を抑熱効果の高い最新の人工芝にして夏場の温度抑制を図った。
  - 2 教員室のレイアウトを一新し、講師も含めた教員の意思の疎通を向上させた。

## 4. 新しい学校行事の定着

- A 北海道修学旅行の実施
  - 7月20日～24日 ニセコ3泊（アイヌ民族学習、登山、ラフティングなど）、函館1泊（グループ別自由散策など）
- B 海の学校の実施
  - 7月28日～31日 望秀海浜学寮（富津海浜公園のプール活用など）
- C 低学年、学校宿泊の実施
  - 1年生：10月4～5日、2年生：6月28日～29日 何れも防災訓練と宿泊訓練を兼ねる。
- D 音楽会の実施
  - 学級企画による音楽活動の成果を12月に記念講堂で発表

E グリーンホールでの「昭和っ子の研究（総合学習）報告会」第2回を実施

4・5年生：2月8日、1～3年生：9日

## 5. 他部署・施設と連携したプログラム

- A 大井町役場と連携し、東明学林の施設を利用しながら4・5年生全児童が田園学寮中に田植えを行い、秋に希望する保護者と児童が稲刈りを行った。
- B 大学初等教育学科学生が初等部の授業を見学する「エントリーシート」システムを実施した。
- C 初等部の教員が大学初等教育学科で特別講義を行った。
- D ブリティッシュ・スクールの児童・生徒との共同学習や授業相互見学を実施した。
- E 幼稚部年長と5年生や1年生との交流授業を設定した。
- F 英語教育に関して、大学・英語コミュニケーション学科の学生が授業見学や本校主催の研究会に参加した。
- G 幼稚部、中高部と共に教職員研修を実施し、互いの部署の教育活動の理解を教員が相互に行った。
- H 昭和ナースリー卒園生の初等部への入学が始まった。
- I 昭和ナースリーの年長児の見学受け入れを3月に実施した。また、放課後の南側校庭を昭和ナースリーに開放した。

## 6. 海外研修

8月4日～14日に「第12回ボストン昭和フレンドシップツアー」を実施した。

## 7. 「子育てフォーラム」の実施

募集活動を兼ねた公開フォーラム「第5回 子育てフォーラム」を3月8日（土）に白梅大学学長・汐見稔幸氏を招いて実施した。

### 1. 幼小連携

- A 初等部教員朝礼に幼稚部教師1名が参加し、双方向同時連絡可能な場を実現している。
- B 幼小合同「昭和っ子の運動会」で、年長児と5年生のペア競技をプログラムに組んで練習し、運動会で実施した。
- C 年長組親子を中心に初等部の文化行事（映画鑑賞、音楽劇鑑賞）に参加した。
- D 図工・理科・英語の専科指導を初等部に依頼し、年長組を中心に実施した。
- E 2年生と年長児、5年生と年少児等が日常保育の中でも交流した。

### 2. FD 活動の推進

以下の教職員研修会に参加した。また、各種団体開催の教員研修会（計11研修）には個別に参加した。

主催者	内容
(社) 東京都私立幼稚園教育研修会・ 東京都私学財団	6月17日：第1回経営研修会（IT活用） 6月26日：保育者の心構え 7月24・25日：教育研究大会(全日私幼連東京地区教研大会共催) 11月21日：平成25年度幼稚園教育研究協議会（豊明幼稚園公開保育） 2月18日：子ども・子育て支援制度について ほか 計21研修
世田谷区私立幼稚園協会 世田谷区子ども部子ども家庭課	5月15日：幼児理解を保育に生かす 7月26日：児童虐待予防講座 2月5日：世田谷区私立幼稚園協会研究発表大会 3月4日：子ども子育て支援制度について ほか 計7研修

### 3. 預かり保育(幼稚園独自)開始

幼稚部独自の預かり保育を4月9日から実施した。

預かり担当の教員（常勤、非常勤）2人を採用し、早朝保育（午前8時 - 9時）も実施。2013年度は年長児4人、年中児2人、年少児4人の計10人が利用。

### 4. 認定こども園計画

新園舎設計定例委員会が始まる。（納谷設計事務所担当）

2014年3月 新園舎建設の為、仮園舎に移転した。（80年館西棟・1、2階）

幼稚部教職員が昭和ナースリーで保育補助を行った。

昭和ナースリーと園庭でドッチボール大会、ごっこ遊びへの招待等で交流を深めた。

### 5. 私立幼稚園情報交換会

東急・小田急沿線の附属幼稚園15園が集まり、募集活動についての情報交換会を行った。

情報交換会独自の「私立幼稚園合同相談会」を開催した。（1月26日）

2013年度に大学の授業として実施した講演・コンサートは以下の通りである。

#### A 文化研究講座（全 17 講座）

日付	公演者
4月26日	東京交響楽団演奏会
5月17日	オペラ「カルメン」ハイライト
5月20日	トリオ・リベルタ
5月28日	古典芸能「能楽鑑賞会」
6月4日	小曾根真&ゲイリー・バートン Piano&Vibraphone
6月25日	環境ミュージカル「地球は誰のもの」
6月27日	ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団
7月1日	アンサンブル・ウィーン
10月7日	モスクワ合唱団
10月10日	英国女王陛下の近衛軍楽隊
10月17日	華麗なる2台のピアノ 仲道郁代&横山幸雄
10月28日	「雨谷麻世」の音楽の捧げ物
11月12日	田部恭子・ピアノリサイタル
11月15日	ミュージカル「ブッダ」
11月26日	古典芸能・落語鑑賞会
12月10日	スーク室内オーケストラ ～クリスマス名曲コンサート～
12月17日	映画「マーガレット・サッチャー(鉄の女の涙)」

#### B 女性教養講座（全 15 講座）

日付	演題	講師
4月24日	妊活講座 仕事、結婚、出産、女子学生のためのライフプランニング	国立成育医療研究センター 母性医療診療部不妊診療科 医長 齋藤 英和 氏 少子化ジャーナリスト 白河 桃子 氏
5月8日	日本はどうかー歴史の教訓に学ぶ	東京大学名誉教授・明治大学特任教授 山内 昌之 氏
5月15日	少子高齢社会の社会保障	元厚生労働大臣・小宮山洋子政策研究会代表 小宮山 洋子 氏
5月18日	わかりやすい伝え方	ジャーナリスト・東京工業大学教授 池上 彰 氏
5月29日	グローバリゼーションの潮流ー私のグローバル体験記ー	野村ホールディングス株式会社常任顧問 氏家 純一 氏

日付	演題	講師
6月5日	「生きる意味」を探して 〈世間〉を飛び出し、〈世界〉へ向き合おう	東京工業大学リベラルアーツセンター教授 上田 紀行 氏
6月26日	私の人生 私の音楽	ピアニスト 梯 剛之 氏
7月3日	幸せを引き寄せる自己表現	日本大学芸術学部教授・博士（パフォーマンス心理学） 佐藤 綾子 氏
7月10日	<グローバル人材育成推進事業シンポジウム> 日本が必要とするグローバル人材	パネリスト アサヒグループホールディングス株式会社代表取締役 社長 泉谷 直木 氏 ゴールドマンサックス証券チーフストラテジスト キャシー 松井 氏 株式会社三井住友銀行取締役会長 北山 禎介 氏 昭和女子大学特命教授・国際基督教大学客員教授 八代 尚宏 氏 昭和女子大学学長 坂東 眞理子
10月16日	これから働き始める君たちへ	アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）創業 者・最高顧問 大竹 美貴 氏
10月23日	インクルージョン社会を目指して	NPO 法人勇気の翼インクルージョン2015 理事長・公益 財団法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長 細川 佳代子 氏
10月30日	国際社会の日本とあなたたち	上智大学特別招聘教授・前アメリカ合衆国駐箚特命全権 大使・慶應義塾大学特任教授 藤崎 一郎 氏
11月13日	地球人として生きる世界へ... Global Living Today	青山学院大学名誉教授・江戸川総合人生大学国際コミュ ニティ学科長 ジョージ・W・ギッシュ 氏
11月20日	置かれたところで咲く	学校法人ノートルダム清心学園理事長 渡辺 和子 氏
2月13日	気持ちの良い日本語	杏林大学外国語学部教授 金田一 秀穂 氏

## 1. 展覧会

2013 年度に実施した展覧会は以下の通りである。

日程	内容
4月2日→4月17日	光葉博物館収蔵 授業資料展 2013 ～宮廷装束を中心として～
5月15日→6月22日	[春の特別展] 2011.3.11 平成の大津波被害と博物館 —被災資料の再生をめざして—
7月8日→8月25日(20日間)	[収蔵資料展] 沖縄の民具 2013
10月28日→11月30日	[秋の特別展] 山梨・茅ヶ岳山麓における縄文時代中期文化の盛衰 —山梨県北杜市諏訪原遺跡の発掘調査成果を中心に—
12月10日→1月25日	英国テキスタイルアート展 62 グループ設立 50 周年記念
2月24日→3月16日	卒業制作展 2013

## 2. 刊行物

2013 年度に発行した刊行物は以下の通りである。

A 光葉博物館報 No.17

B 春の特別展「2011.3.11 平成の大津波被害と博物館 —被災資料の再生をめざして—」展覧会図録

C 秋の特別展「山梨・茅ヶ岳山麓における縄文時代中期文化の盛衰 —山梨県北杜市諏訪原遺跡の発掘調査成果を中心に—」展覧会図録

D 「昭和女子大学光葉博物館コレクション 日本の郷土玩具 I —木—」目録

## 1. 施設の活用状況

2013 年度に提供した他大学・社会人研修プログラムは以下の通りである。(全 7 プログラム)

	プログラム名	対象	期間	人数
1	Boston Summer Session	立命館大学	8 月 19 日→9 月 15 日	45 人
2	Boston Summer Session	大学コンソーシアム京都	8 月 19 日→9 月 14 日	1 人
3	Boston Summer Session	札幌国際大学	8 月 19 日→9 月 16 日	1 人
4	成人式ツアー	ボストン滞在学生家族	1 月 8 日→1 月 14 日	26 人
5	立命館 CELOP	立命館大学	2 月 8 日→3 月 11 日	26 人
6	アメリカ栄養士研修	京都光華女子大学	2 月 19 日→3 月 5 日	10 人

※本学のプログラムは P.39 参照

## 1. 講座開設状況

2013 年度の開設講座数と延べ受講者数は以下の通りである。

開設講座数	524 講座
延べ受講者数	3,744 人

## 2. 大学との連携

2013 年度の特別奨学金（キャリアアップ奨励金）対象講座と受講大学生数は次の通りである。

講座名	受講者数
秘書技能検定 2 級対策講座	30 人
公務員試験対策講座	40 人
合計	70 人



## 特定非営利活動法人 NPO 昭和

## 1. 「子育てステーション世田谷」の運営と地域貢献活動

世田谷区の委託を受けて子育てステーションを運営し、積極的に自主事業を実施した。

子育てステーション世田谷（昭和女子大学オープンカレッジ棟内）	
施設名	状況
おでかけひろば SHIP	区内子育て家族の集いのひろば 開設日数 357 日 年間のべ 12,607 組・26,817 人（1 日平均 35.3 組、75.1 人） スタッフが、1182 件の子育て相談に対応した。 高齢者との交流・マタニティ支援講座等、毎月イベント講座を実施した。
ほっとステイ SHIP DAY NURSERY	区内在住の就学前の子どもの一時預かり施設 年間のべ 2,814 人（1 日平均 8 人）を保育した。
発達相談	年間 22 回開設。NPO 職員と昭和女子大学生生活心理研究所スタッフが相談に対応した。 ・個別発達相談：164 件の相談に対応した。 ・ペアレント・トレーニング：幼児・小学生別に 4～5 名の保護者グループを実施した。 年間 4 グループ（各 6 回）、参加のべ人数 120 人。
昭和ナースリー	認証保育所・認定こども園（0 歳児から就学前） 2014 年 4 月初日の在籍児童数は 70 人（定員 66 人）

## 2. 「世田谷区立男女共同参画センターらぶらす」の運営と地域貢献活動

## A 「わくわくワークフェスタ」の開催

世田谷区内の女性起業家の出展による「起業ミニメッセ」と講演会・親子向けイベントを企画・運営した。

日時	11 月 23・24 日 11:00～18:00
場所	キャロットタワー 4・5 階 生活工房
起業ミニメッセ出展 事業者数	2,168 人 56 団体
来場者数（2 日間）	2,526 人
実施イベント	1 親子イベント ①親子でトライ！赤ちゃん手話&リトミックダンス♪♪ 講師：うちむらかおりさん他（劇団みるき〜うえい代表）、まつひらまみさん（赤ちゃん手話研究所） ②物と身体であそぼう〜メルヘンパフォーマンス〜 講師：To R mansion 2 起業講座&サロン ①「300 人の女性社長から見てきた 会社の育て方」 講師：横田響子さん（㈱コラボボ代表取締役） ②「ワークライフバランスを大切にする会社の作り方」 講師：澤登信子さん（株式会社ライフカルチャーセンター代表取締役） ③「そのサイト！ここを変えたらもっと売れる！売れるサイトにするためのチェックポイント」 講師：吉枝ゆき子さん（ソフィットウェブプランニング代表） ④「公的融資制度を活用して、創業を成功させるポイント」 講師：溝口晃子さん（中小企業診断士）

	<p>3 女性のための起業なんでも相談 相談員：片岡由美さん（中小企業診断士）、谷きよみさん（中小企業診断士）、新井秀樹さん（日本政策金融公庫 東京創業支援センター所長）</p> <p>4 「プチ説明会女性の起業・創業に補助金が出る！</p>
--	---

## B 「らぶらすフェスタ」の開催

世田谷区男女共同参画センターらぶらすと、らぶらす登録団体・区民との交流を図った。

日時	10月27日（日）
場所	世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 10・11階（交流会）
参加者	1,058人
実施イベント	<p>1 らぶらす交流会</p> <p>2 地域グループ・団体による講座</p> <p>①(特非)ジョイントT・M 「コラージュ 雑誌を切って、貼って、絵を描いてみよう」 「お父さんの子育て応援講座 男はつらいよ」</p> <p>②(社福)子どもの虐待防止センター（=CCAP）</p> <p>③団体：あみ∞あむ 「災害と人権～助かった命をつなぐために」</p> <p>④With live 「いざというとき助けてくれる相談所の役割と所在」</p> <p>3 子ども工作イベント</p> <p>4 代田お話劇場このゆびとまれ</p> <p>5 きみもチャレンジ！とびだすカードをつくろう！</p> <p>6 キッズハロウィン</p>

## C 講座の企画・運営

2013年度は、下記のテーマで講座を企画・実施した。

テーマ	受講者数（延べ人数）
男女の人権の尊重	1,613人
あらゆる分野への男女共同参画の促進	2,418人
少子高齢化社会の男女の自立を促進する	565人
男女が共にいきいきと働くことができる環境を整える	2,702人
計	7,298人

## D 蔵書の充実と利用の促進

昭和女子大学の教授や図書館司書と選書会議を開催し、施設の蔵書を充実させて利用を促進した。

蔵書数	図書	ビデオ	行政資料
17,150冊	14,915冊	360冊	1,875冊

登録者数
5,306人